

一般質問



一般質問は、12月12日、13日、14日の3日間行われ、19人の議員が登壇しました。
 一般質問は、2面から5面に掲載しています。(質問者の文責により、質問と答弁の要旨を掲載)
 なお、各議員の記事にある二次元コードを読み込むと、一般質問の動画を視聴できます。(通信費は利用者の負担となります。)



保育の質の向上のために 保育士の配置基準の改善を



ともにつくる 古木 勝久
一 子ども・子育て支援について
問 令和5年9月定例会月会議で、保育士の配置基準は、本市のような一般市では市単独で定められないという答弁があった。県の見解では配置基準は一般市でも定めることが可能とのことである。改めて見解を伺いたい。古木 勝久
答 他市が定めている配置基準は本市が現在進めている補助基準の見直しと目的が同じである。
問 保育士の配置基準を改定することは保育の質を高めることである。制度上、十分可能だと考えるが、どうか。
答 補助基準の見直しを行っており、その中で検討を進めていく。
意見 保育士の人材不足を的確に分析し、一刻も早く配置基準の見直しをすべきだ。
二 社会教育と地域コミュニティについて
問 本市は公民館が本来の機能を失い、貸館化しつつある。公民館には専門職あるいは専門職に準じるような職員配置が望まれると思うがどうか。
答 館長が研修などを通じてさまざまな刺激を受けて、公民館の事業に生かすよう取り組んでいる。



表丹沢の登山口 渋沢駅北口の様子

創和・市民 小山田 良弘
一 小田急線4駅周辺のまちづくりについて
問 小田急線4駅周辺のまちづくり創造プロジェクトの概要と組織の設置状況はどうか。
答 活力あふれるにぎわいづくりを目指して懇話会を組織し、アイデアを出し合っている。また、秦野駅北口周辺にぎわいのあるまちづくり協議会を設置し、懇話会からの提案について実現の可能性を議論している。
要望 まちづくりは人づくりが大事であるため、次世代につながるリーダーを育成してほしい。
問 4駅周辺の特徴をどのように捉えているか。
答 鶴巻温泉駅は温泉・癒し、東海大学前駅は若さ・学生、秦野駅は川とまちの一体化、渋沢駅は表丹沢の登山口としての特徴を生かす、にぎわいづくりをしていきたい。
問 駅前広場や駅周辺再整備の課題や計画について考えはどうか。
答 バスやタクシーと一般車の交錯や歩行者の乱横断、エスカレーターやエレベーターの老朽化、ベ



小田急線4駅の特徴を生かし、将来に期待の持てる魅力あるまちづくりの推進を



問 公民館は地域住民全体が気軽に集える拠点である。また「一人は城、人は石垣」と言われるが、本来の機能を持つために職員の配置を変えていく考えはないか。
答 さまざまな研究をし、必要に応じて対応していきたい。



保育士の配置基準の見直しを



生きる力を育む「新たな学びのスタイル」への転換を



ともにつくる 桑原 昌之
一 小学校における「新たな学びのスタイル」への転換について
問 「新たな学びのスタイル」への取り組みはどのようか。
答 「教員が一斉に教える」から「子どもたちが自ら学ぶ場の提供」という学習スタイルへの転換を図るため、児童・生徒の非認知能力や学習の定着度合いにも着目

しながら、授業の在り方を見直す取り組みを進めている。
要望 より一層の研修と研究の充実を図り、子どもまんなかの姿勢で、新たな教育を実現してほしい。
二 はだのスポーツビレッジ構想について
問 どのような経緯で発案され、また、今後の方向性はどのようか。
答 NPO法人湘南ベルマーレスポーツクラブから、本市と協力して天然芝のグラウンドを整備したいとの申し出があった。今後、本格的な施設整備と管理運営などの検討・調整を行う。
要望 多くの市民の声を聞きながら慎重に進め、全世代が健康的で元気が一番で暮らせるまちを目指

公明党 間地 薫
一 高齢者施策について
問 本市は、高齢者が移動しやすい環境づくりを推進するとしているが、バスなどの運転士不足が問題となっている中、現在行っている移動支援の経緯はどのようか。
答 地域からの要望でアンケート調査を実施し、試験的運用を経て、現在、3団体が活動している。菩提買物支援隊は、その活動が評価され、令和5年9月に内閣府より表彰された。
要望 現在活動している団体をモデルとして、各地域で活動が広がるよう、より一層の周知と後継者育成の取り組みをしてほしい。
二 感染症対策について
問 帯状疱疹の予防にはワクチン接種が有効と思われるが、接種費用助成に向けて、本市の今後の方向性はどのようか。
答 国や県の動向、近隣市町村の状況を注視するとともに、本市での罹患者の状況や副反応について、情報把握に努めていく。
三 自治会のデジタル支援について
問 ※「いちのいち」の自治会加入数の推移と利用状況はどうか。
答 加入数は増加しているが、利用している自治会はまだまだ少ない。今後、さらなる周知や出前講座による説明を行っていく。
要望 広く活用するには会員の協力が必要である。自治会役員の負担が減り、多世代間のつながりができるように周知をお願いしたい。



柔軟で創造的な学習空間の実現を

市民との情報共有について
問 市民情報共有の取り組みはどのようか。
答 広報はだのやホームページ、SNSなど、さまざまな媒体を活用した情報発信に努めている。
要望 情報をより多くの市民に届け、受信し、みんなで行く秦野につながるよう、尽力してほしい。



病気に負けない体づくりをするために 市民の免疫力向上に向けた取り組みを



みらいを変える 中村 知也
一 市民の免疫力向上について
問 全国的に夏場のインフルエンザの流行や帯状疱疹・じんましんなどの免疫力低下時に起こる症例の増加が見られるため、薬に頼らず、病気に負けない体づくりをすることが重要と考える。市民の免疫力向上のために、本市で行っている取り組みと周知はどのようか。
答 免疫力向上につながるため、食に関する健康増進事業を多数実施している。健康寿命を延ばすにも、食は重要であるため、一人一人が実践できる正確な情報を迅速に発信し、周知を図っていく。
要望 市民の日常生活に生かせるような健康に必要な知識の普及啓



食を通じた病気に負けない体づくりを

二 都市農業の活性化について
問 地産地消や有機農業の取り組みは、市民の健康向上を目指すためにも、必要な事業と考える。有機農業の推進には、販路や農地の確保などの課題があるため、支援をすべきと考えるが、どうか。
答 ※有機JASの取得を目指す団体に対し、支援を開始した。また、有機転換推進事業に取り組む農業者の支援は、令和6年度に向け、県に予算要望をしている。
意見 慣行農業の農作物より販売価格の面で不利になる有機農業に必要なことは、食や健康に関心が高く、購買行動をとる市民の数を増やすことである。



菩提買物支援隊 協定締結の様子

議長公務(12月~1月)
 議長の主な公務についてお知らせします。より詳細な公務日程については、市議会ホームページでも公開しています。

 横山 むらさき 議長

〇12月
 3日(日) 第19回はだの丹沢水無川マラソン大会開会式
 5日(火) 第76回秦野たばこ祭第2回実行委員会
 12日(火) 秦野商工会議所役員議員懇話会
 16日(日) 秦野伊勢原医師会忘年会
 17日(土) 秦野市・坡州市少年サッカー交流試合開会式
 21日(木) 令和5年秦野市自治会連合会忘年会
 28日(木) 令和5年消防団歳末火災特別警戒激励式

〇1月
 5日(金) 令和6年秦野市新年賀詞交歓会
 8日(月) 令和6年秦野市はたちのつどい
 9日(火) 秦野商工会議所令和6年新年賀詞交歓会
 14日(日) 第69回秦野市駅伝競走大会開会式
 16日(火) 秦野市農業協同組合2024年新年賀詞交歓会
 17日(水) 公益社団法人秦野青年会議所新年賀詞交歓会
 秦野市農業委員・推進委員親睦会新年会(副議長代理出席)
 18日(木) 令和6年NPO法人秦野市薬剤師会賀詞交歓会
 20日(土) 令和5年度秦野市教育功労者等表彰式
 令和5年度はだのつ子アワード表彰式
 23日(火) 秦野警察署武道始式・新春のつどい
 24日(水) 西地区自治会連合会令和6年賀詞交歓会
 27日(土) 神奈川県退職公務員連盟新年賀詞交歓会並びに叙勲祝賀会(副議長代理出席)
 28日(日) 国際交流フェスティバル

会派の表記について …「創和会・市民クラブ」は、略称として「創和・市民」、「ともにつくる秦野」は、略称として「ともにつくる」と表記しています。
 用語解説 ※いちのいち…小田急電鉄株式会社が開発した、自治会の電子回覧板機能や防犯・防災情報の発信を行うことができる自治会専用のSNSサービスのこと。
 ※有機JAS…日本農林規格等に関する法律で定められた有機生産基準で生産、加工された食品。農業や化学肥料の使用を極力避け、自然循環機能を活用し生産されていることを示す。